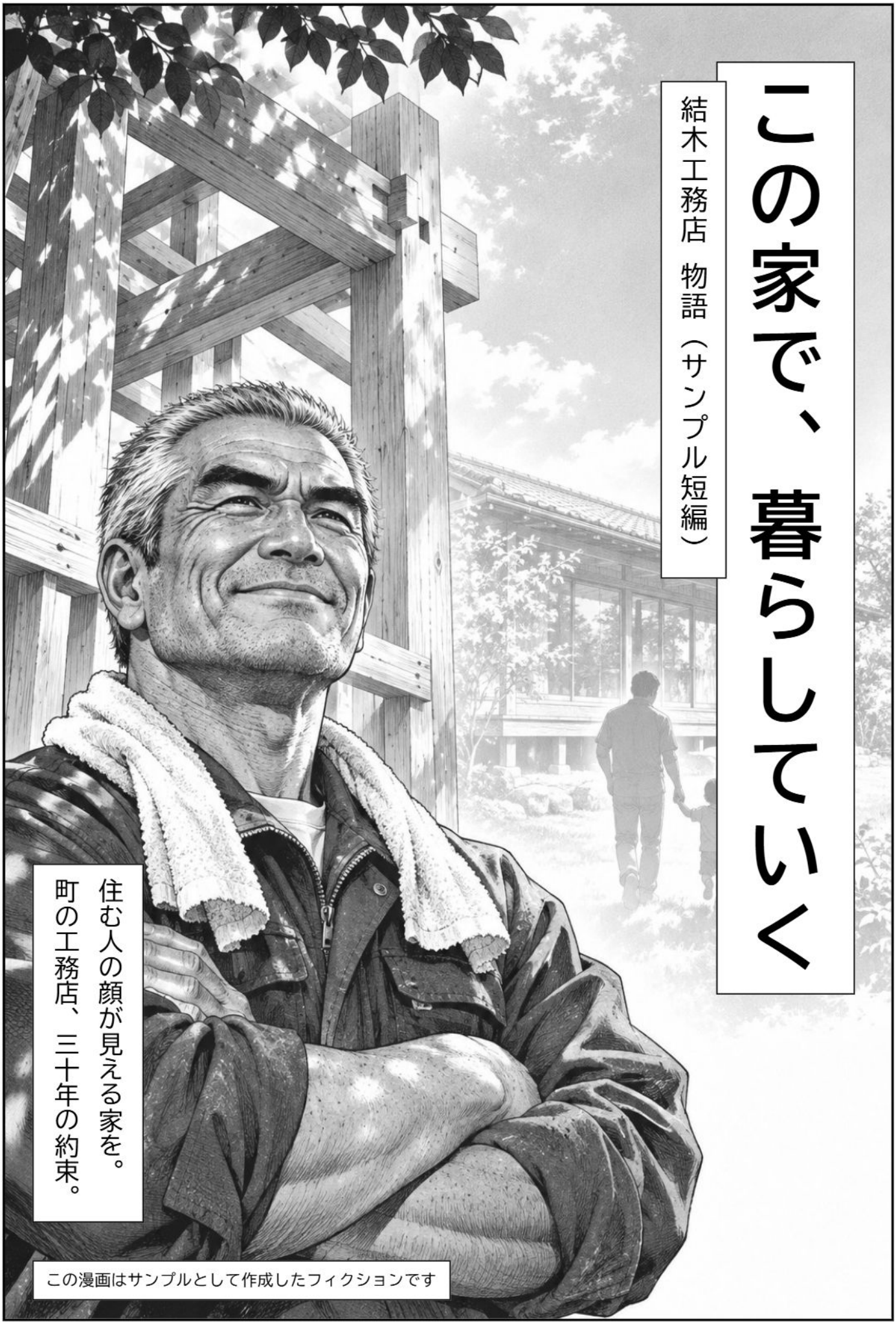
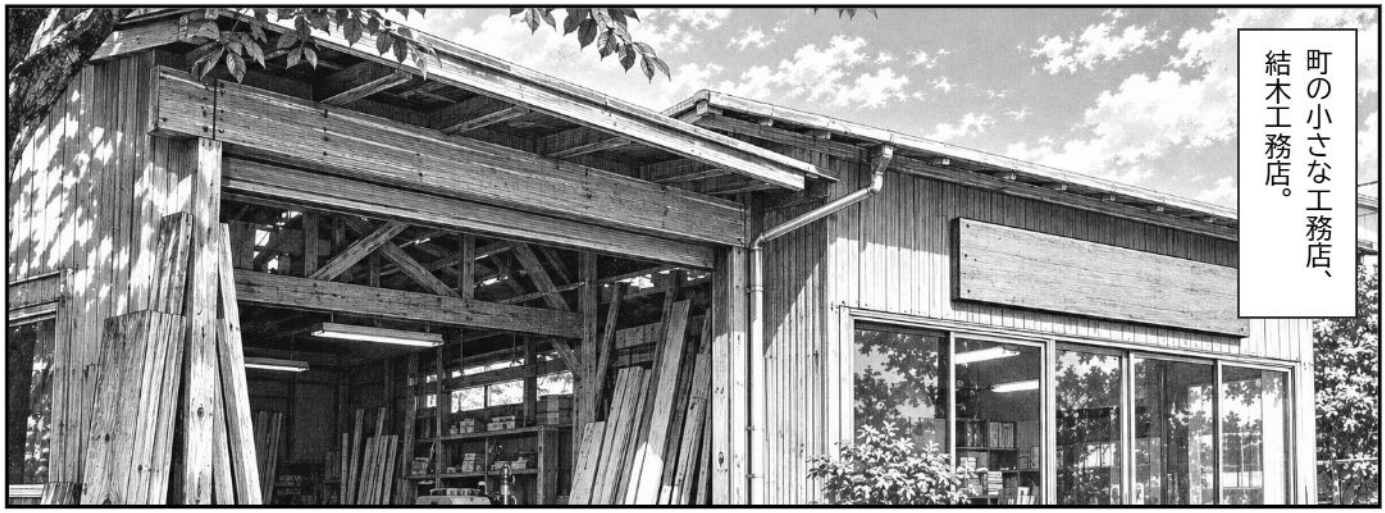

この家で、暮らしていく
結木工務店　物語（サンプル短編）
住む人の顔が見える家を。
町の工務店、三十年の約束。
この漫画はサンプルとして作成したフィクションです


家を建てると決めて、半年。
展示場は、
もう十か所以上まわった。


どこも素敵なんだけど……
「私たちの家」って
感じがしないの


ぼくのおうち、
ここで絵をかくの！


……いい家だな
建てたのは、
町の小さな工務店だった。


町の小さな工務店、
結木工務店。


間取りの話の前に……
今の暮らしで、一番
好きな時間はいつですか？

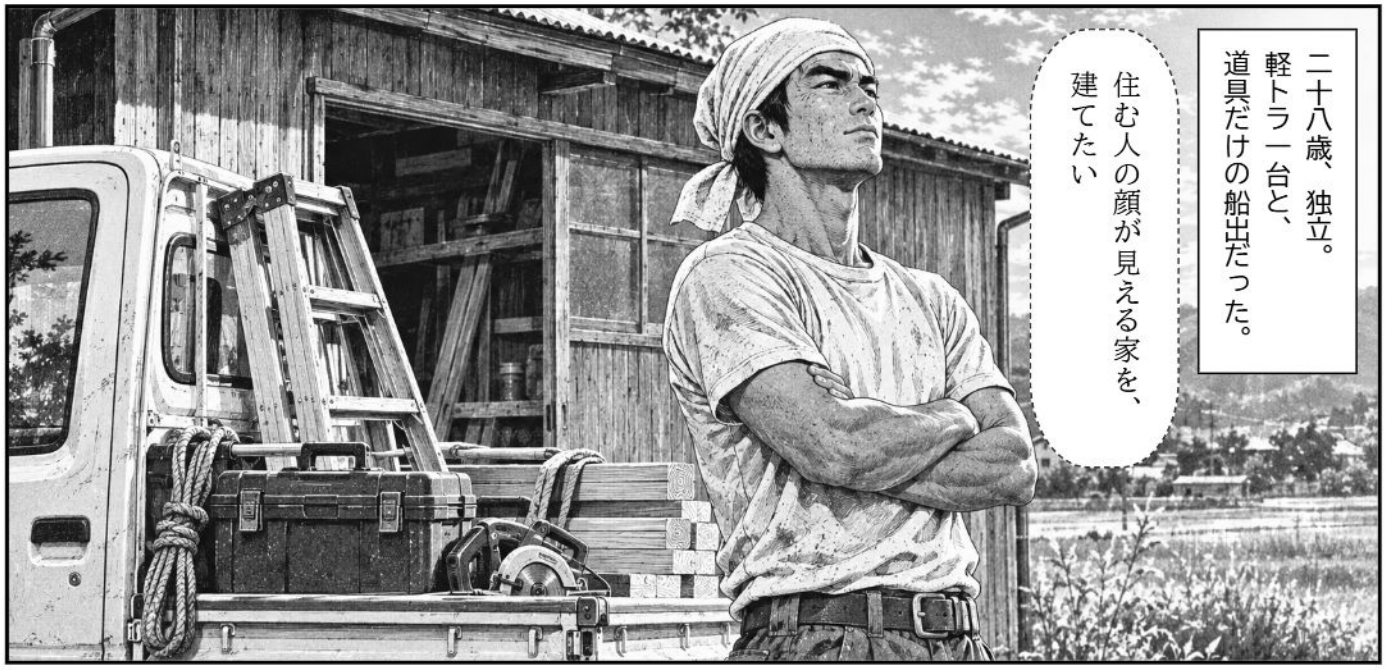

朝ごはん、ですかね。
この子が絵の話を
してくれる時間

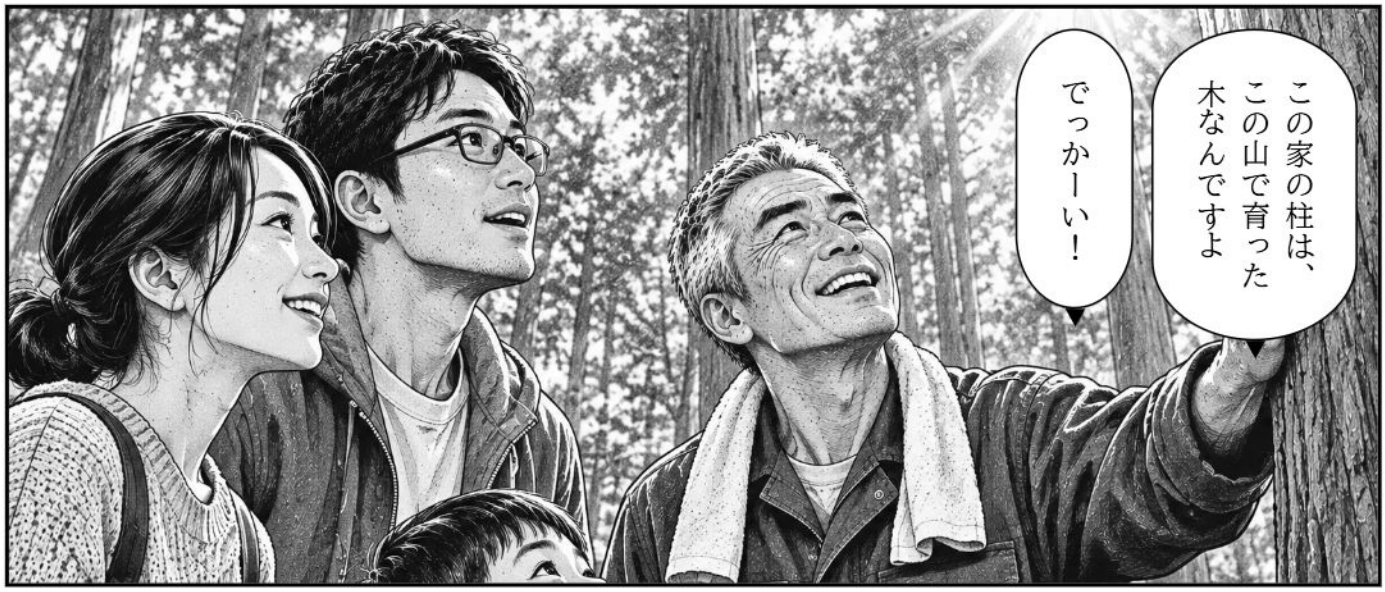

じゃあ、台所から
お子さんの絵を描く背中が
見えるようにしましょう
健太「……どうして、そこまで考えてくれるんですか？」


若い頃、悔しい
思いをしましてね

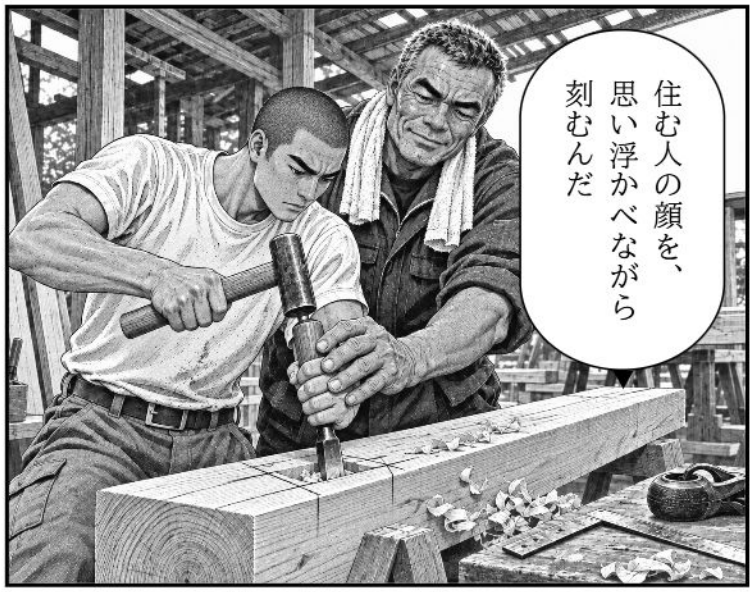

三十年前。
早く、安く、数多く——
そんな現場ばかりだった。

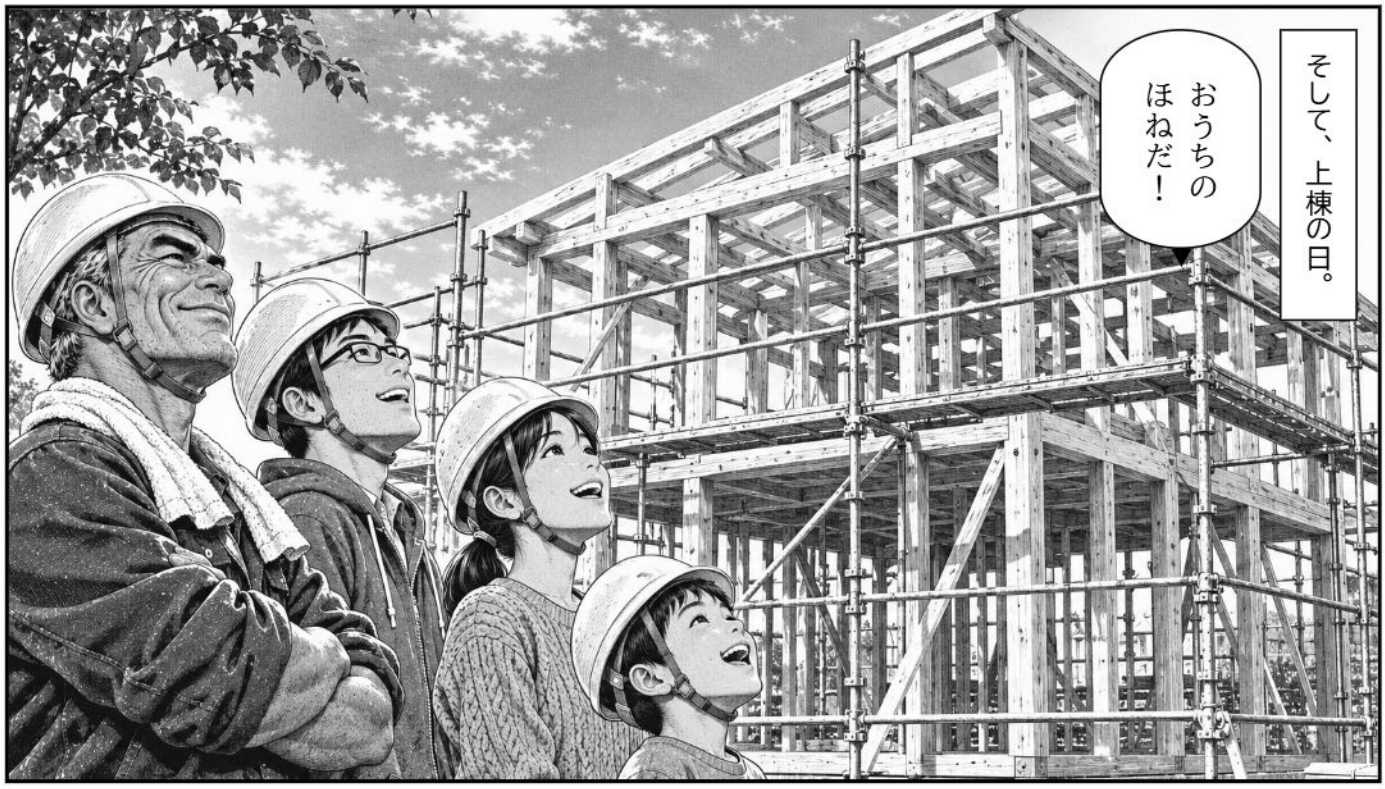

いい家なんだけどね……
冬は、ちょっと寒くて


二十八歳、独立。
軽トラ一台と、
道具だけの船出だった。
住む人の顔が見える家を、
建てたい


この家の柱は、
この山で育った
木なんですよ
でっかーい！

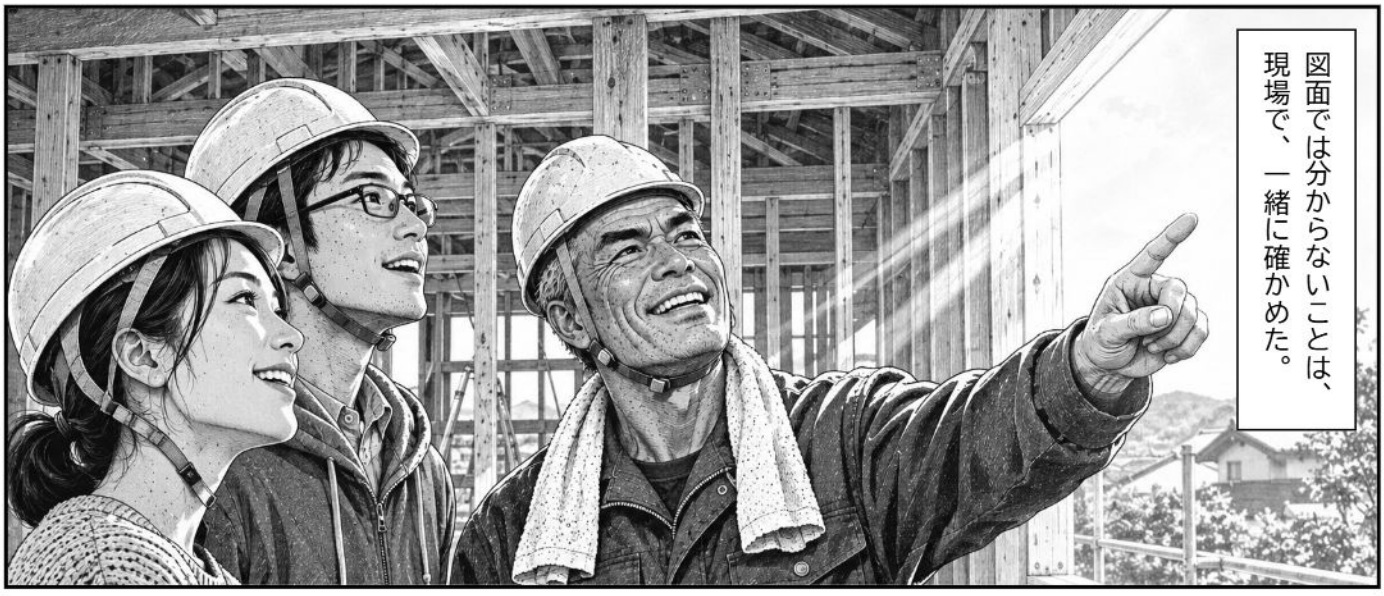

機械加工が主流の今も、
結木工務店は継手・仕口を
職人の手で刻む。


住む人の顔を、
思い浮かべながら
刻むんだ


そして、上棟の日。
おうちの
ほねだ！

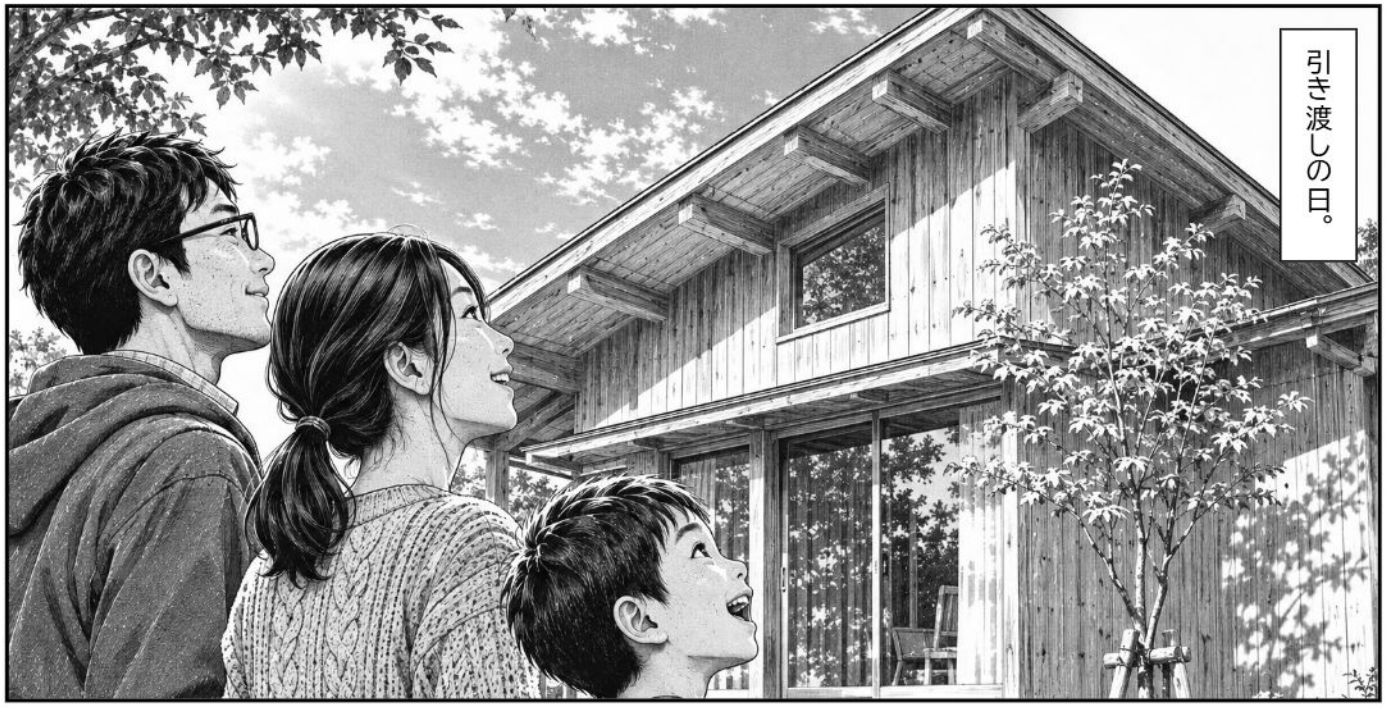

やっぱり、
窓の位置……
今からでも
相談で
きますか？


間に
合うかどうか、
明日、現場で
一緒に
確かめましょう

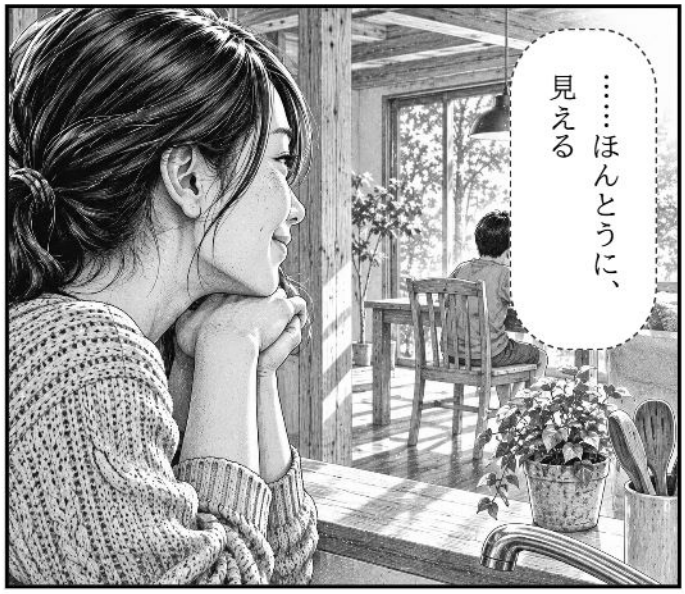

図面では分からないことは、
現場で、一緒に確かめた。


屋根と窓が付くと、
壁の中に断熱材が入る。
完成したら、
見えなくなる
ところですよね


見えなくなる
ところほど、
手を抜けないんです。
あの冬の寒い玄関を、
二度とつくりたくない

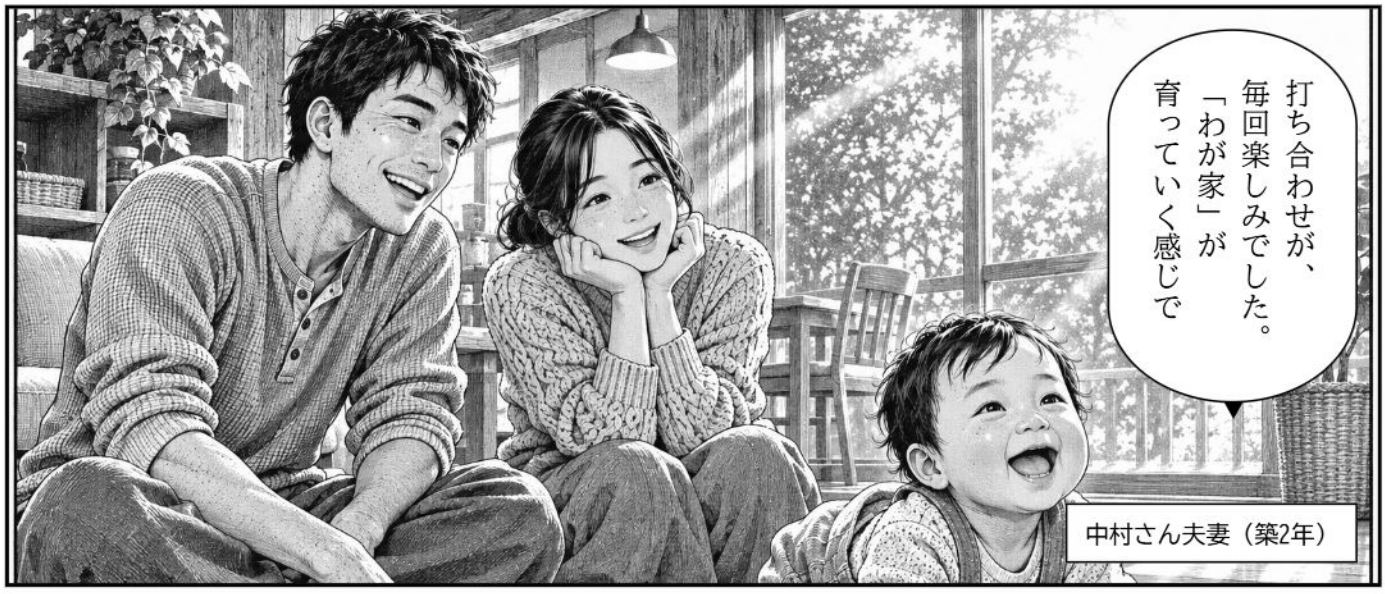

引き渡しの日。


ひろーい！


……ほんとうに、
見える

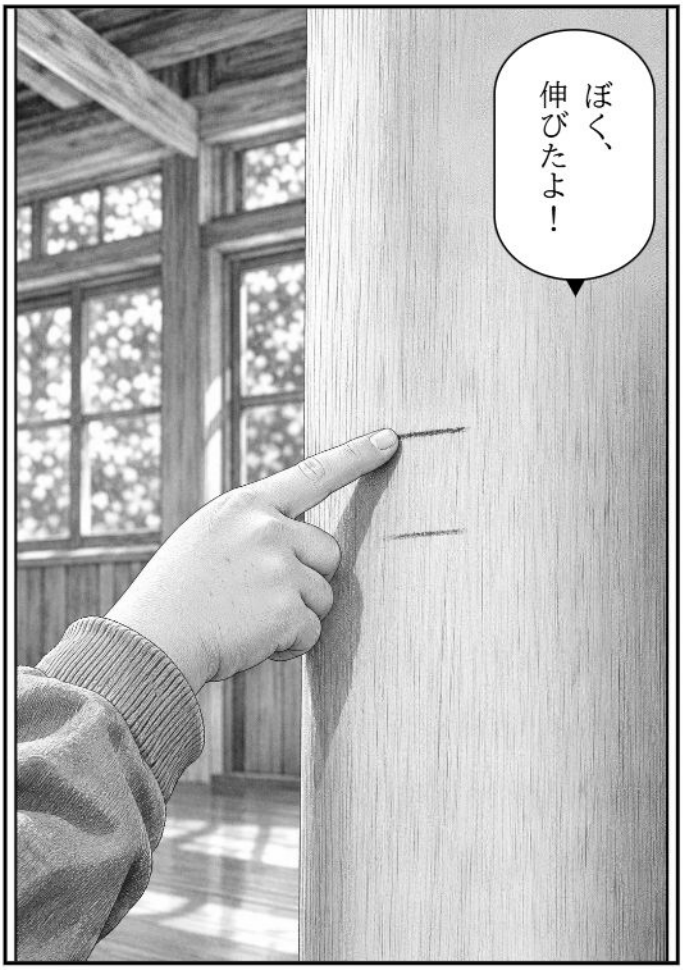

この柱、
そら君と一緒に
年をとっていきますよ
佐野さんの希望で、柱に背比べの印を。


結木工務店で建てた、
ほかの家族の声。
建てて十五年。
今でも、困ったら
社長が来てくれます
高木さん夫妻（築15年）


打ち合わせが、
毎回楽しみでした。
「わが家」が
育っていく感じで
中村さん夫妻（築2年）


友だちが来るたびに、
「木のいい香り」って
言われます
石川さん一家（築5年）　※お客さまの声は、すべて架空のものです







結木工務店（架空）　代表　結木

この漫画はサンプルとして作成したフィクションです。
登場する人物・会社・お客さまの声は、すべて架空のものです。
AIで作画した、工務店ブランディング漫画の制作サンプルです。

作中の工事の内容・住まいの感じ方は一例です。実際の仕様・費用・工期は、建物や敷地の条件によって異なります。